

保守・運用支援サービス

SupportDesk

# 保守交換ディスク データ消去サービス

お客様先で、ハードディスク交換時に残存データを消去します。

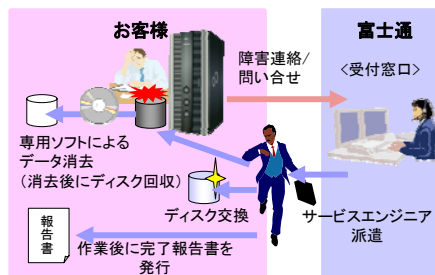
## こんなお客様に最適です！

- 機密情報が入ったハードディスク内のデータ消去を専門家に任せたい。
- データ消去の作業を自社の事務所内でおこなってほしい。
- データ消去の証明書を発行してほしい。

## お客様サイトでサービスエンジニアがディスク内の残存データを完全に消去

お客様先で故障ディスクの保守交換を行う際に、専門技術者が専用ソフトウェアを用いてディスクの全領域に無意味なデータの上書きを実施し、故障ディスク上に残存するデータを完全に消去します。

通常のSupportDeskサービスでは、お客様先での障害修理時に交換されたハードディスクは、富士通の所有物としてサービスエンジニアがセキュリティロックを施した上で回収し、工場データ消去作業をおこないます。本サービスは、お客様施設からハードディスクを持ち出さずに専門技術者が消去作業をおこなうため、データ流出／情報漏洩防止に最適です。



## 消去完了報告書の発行

消去作業実施後は消去完了報告書を発行します。

[専用ソフトウェアによる消去の場合]

- 消去対象機器一覧
- 対象媒体のダンプリスト

\*対象ディスクが無意味なデータで上書きされていることが確認できます

This is a screenshot of a detailed report table with multiple columns and rows, providing a comprehensive record of the data erasure process.

消去完了報告書

This is a screenshot of a list of media items, including details like device type, model, and serial number, used for tracking the erasure process.

ダンプリスト

## 対象製品・サービス価格

対象機種		標準価格(月額・税別)
UNIXサーバ	PRIMEPOWERシリーズ、SPARC Enterpriseシリーズ、S Series	SupportDesk Standard 価格プラス ディスク1本あたり800円
オフコン	PRIMERGY6000シリーズ	
ストレージ	ETERNUS4000シリーズ、NR1000Fシリーズ、SP5000	
PCサーバ	PRIMERGYシリーズ	SupportDesk Standard 価格プラス ディスク1本あたり300円
パソコン	FMVシリーズ、CELSIUS	

## 留意事項

- 本サービスは訪問修理(オンサイト)を提供するSupportDesk Standardをご契約されていることが前提となります。引取修理サービスは対象外となります。
- ディスクが認識されないなどソフトウェアによる消去が実施出来ない場合には、専門技術者が消磁装置により磁気破壊作業を実施し、データを消去します。
- サービス時間帯はSupportDesk Standardの基本時間帯(平日8:30~19:00\*)に準じます。ただし受付けた時間によっては翌営業日以降の対応になる場合があります。  
\*土日祝日をのぞきます
- 本サービスにてデータ消去した障害ハードディスクは富士通の所有物となりますので、消去作業後は回収させていただきます。

## 適切なデータ消去とは ～ディスクを物理的に壊してしまえば、「安全」？～

ハードディスクを物理的に破砕しただけでは、データの読み出しはできなくても、データそのものはディスク内に残存しています。「保守交換ディスクデータ消去サービス」により残存データを完全に消去することができます。

### データのしくみ

データを「本」に例えると2つの領域から成り立っています。



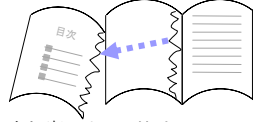
目次: データを管理する「**管理領域**」  
本文: データ本体である「**データ領域**」

- データは目次と本文のリンクによって読めるようになっています。

### 適切なデータ消去とは

#### 《通常の消去方法》

- OS標準の削除機能による消去やハードディスクの初期化

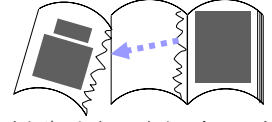


目次を破り、リンクが切れるのみで本文はそのまま残るため、本は読めてしまいます。

⇒データの復元が可能

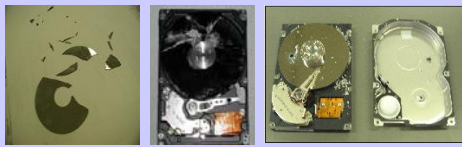
#### 《データの完全な消去方法》

- 専用ソフトウェアによる消去



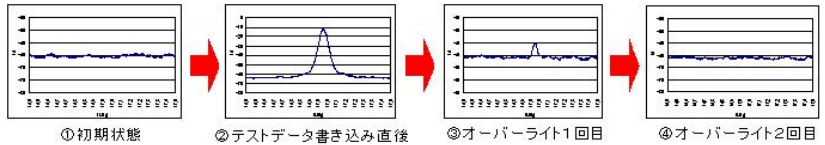
目次を破った上に、本文の全ページを全て塗りつぶすため、本は読めません。

⇒データの復元が不可能



ディスク破壊、媒体破損、ディスクへの穿孔などの方法で物理的に破壊をしても、専門的な技術によりデータ復旧可能な場合があります。

### データ上書き回数と磁気データ強度



テストデータ書き込み直後に現れる波形はオーバーライト1回目でもノイズレベルにまで減衰し読み取りが不可能な状態になります。

## 情報漏洩は、もはや一企業の問題だけにとどまりません！

「情報」が社会において大きな価値を持っている現在、企業では情報セキュリティガバナンスの確立が急務となっています。このような動向にあって企業による情報漏洩が発生すると、ビジネス機会の喪失・事後対応への莫大な出費・信用の失墜といった企業内部の損失ばかりでなく、場合によっては社会全体に多大な影響や不利益を与えかねません。こうしたリスクを低減する第一歩として、システム機器のデータ消去サービスによる情報漏洩対策をお奨めします。

### 富士通における故障ハードディスク内データの取り扱い

富士通では交換したハードディスクからお客様の情報が漏洩しないよう、日頃よりさまざまな対策を講じて、情報漏洩リスクに備えています。

- 業務委託先との機密保持契約**  
保守部品を取り扱うすべての保守・修理業務委託先、物流業者、製造元、廃棄業者との間で機密保持契約を締結しています。
- 工場におけるハードディスクデータの完全消去**  
交換したハードディスクは当社工場へ集め、定められた消去プロセスにより、含まれるデータを完全に消去します。
- 障害交換したハードディスクへのセキュリティ対策実施**  
お客様先での障害修理時に交換したハードディスクを、サービスエンジニアが専用ツールによりセキュリティロックをかけ、工場まで運送する間の不正アクセスを防ぎます。

### 障害交換したハードディスクへのセキュリティ対策



### その他 関連サービスのご紹介

データ消去作業を実施した後に障害ハードディスクの継続保有を希望されるお客様やハードディスクを自社で管理/廃棄を行いたいお客様は、「**SupportDesk Expert ハードディスク引渡しサービス**」をご利用ください。

●記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。 ■このカタログは2008年1月現在のものです。改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがあります。

■インターネット情報サービス「製品サポート」 <http://segroup.fujitsu.com/fs/>

製品・サービスについてのお問い合わせは

**富士通コンタクトライン 0120-933-200**  
受付時間9:00～17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)  
**富士通株式会社** 〒106-7123 東京都港区東新橋1-5-2汐留シティセンター